

事務事業名	水田農業散布事業			担当	産業部 農政課 農政係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名		
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成15年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則						
予算科目	1. 一般会計	6. 農林水産業費	1 農業費		3 農業振興費		
事業概要	水稲病害虫防除は品質、収量等を確保する上で重要であり、広域一斉に防除することにより効果が高まることから、無人ヘリコプターによる防除を実施し、実施主体である稲作近代化推進協議会（はが野農業共同組合）を通じて、稲作農家（事業実施者）に対し支援している。 散布費用（無人ヘリ）：1,250円/10a（市3/10、農協3/10、受益者4/10）薬剤費等（全額、受益者負担）殺菌効果：いもち病、紋枯病など殺虫効果：ウンカ、ヨコバイ、カメムシなど						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 稲作近代化推進協議会（はが野農業共同組合）に対し、実施面積により補助金を交付する。 散布面積2,668ha、会議開催3回  31年度計画 30年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	補助金額	千円	9,155	8,832	9,702	9,948	10,114
	イ							
	ウ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 水稲 稲作農家	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	水稲作付け面積	ha	3,631.1	3,550.8	3,531.0	3,650.8	3,730.0
	イ	稲作農家数	戸	4,357	4,338	4,257	4,012	4,100
	ウ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 水稲の病害虫の一斉防除により品質及び収量の向上を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	散布面積	ha	2,404	2,355	2,587	2,668	2,697
	イ	散布率（散布面積÷水稲作付け面積）	%	66.2	66.3	73.3	73.1	72.3
	ウ	散布実施農家数	戸	2,010	1,991	1,780	1,734	1,740
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 農業の一斉散布を実施し、水稲の病害虫防除をすることにより品質と収量の向上を目指す。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
	ア	良質米（1等米）の比率（JAはが野）		91.4	96.7	97.4	98.2	98.5
	イ							
	ウ							

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	9,155	8,832	9,702	10,088	10,254	
	事業費計(A)	千円	9,155	8,832	9,702	10,088	10,254	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	42	42	42	42	42
		人件費計(B)	千円	176	174	174	175	175
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,331	9,006	9,876	10,263	10,429	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和38年度から有人ヘリコプターによる防除を実施してきたが、平成15年3月10日の農業取締法の改正にともない、作物に登録のない農業を使用することができなくなり、他の作物への影響を考慮して、飛散の少ない無人のヘリコプターによる農業散布を実施している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	農業従事者の高齢化や兼業化の進展にともない、農作業の省力化が課題となっている。平成15年度より全国的に無人ヘリコプターによる防除が実施されるようになり、栃木県においてもほとんどの市町が無人ヘリコプターによる防除に移行している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 水稲病害虫防除は品質・収量等を確保するうえで重要であり、一斉防除の推進によりその効果をあげるための支援は、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 水稲の病害虫防除は品質・収量等を確保するうえで重要であり、一斉防除の推進によりその効果をあげるための支援策は、市の推進する土地利用型農業の振興につながるため公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 農業散布以外に病害虫を防除する効率的な手段はなく、空中散布による広域一斉防除がより効果的であるので支援することは適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 防除作業の効率化が図られているので向上の余地がない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 事業の廃止は、一斉防除実施農家の減少につながり、米の品質・生産性の低下につながる恐れがあるとともに、病害虫の発生による他作物や住環境への影響も懸念されるので廃止できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事業費であり削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 最小限の人件費であり削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 散布費用は市・農協・生産者が応分の負担をしており、農業代は全額生産者負担となっており公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							